

# みなみ公民館だより 4月号

(令和6年4月5日 発行) No.412

編集 蕨市立南公民館 蕨市南町2-23-19

TEL 048-442-4055・FAX 048-443-0761

## 春だ！桜だ！文化展 第27回桜のまち南町文化展 だれでも参加できる美術展

第27回『桜のまち南町文化展』が、3月23日（土）・24日（日）に開催されました。

「誰でも参加できる美術展」では一般公募作品89点、「蕨市公募美術展覧会」では絵画・写真・工芸・書道部門の受賞作品を展示しました。「郷土の芸術家展」では、智内兄助・金子徳衛・岡田伊登子・長谷秀雄・織本巨・藤井誠の各氏の作品を展示。毎年ご協力いただいている河鍋暁斎記念美術館からも、「暁斎百図の世界展」と題し出展いただき、豪華で活気のある作品展となりました。

24日の午後は「画家 智内兄助 トークショー」と題し、画家 智内兄助氏・文化展実行委員長 森田明子氏による対談が開催され、素晴らしいひと時を演出していただきました。

地域の皆様並びに関係者の皆さまの暖かいご支援とご協力により、無事終了することができました。心より感謝申し上げます。

また、出品してくださった皆様をはじめ、足をお運びくださった皆様にも心より感謝申し上げます。

桜のまち南町文化展実行委員会・蕨市立南公民館

## 講座のご案内

### ◆小学生～高校生の点字入門教室

日時 4月13日（土）午前10時～

場所 南公民館 2階団体連絡室

対象 市内の小学生～高校生

※事前にお申込みが必要です



### ◆おはなしくまさん

日時 4月20日（土）午後2時～

会場 南公民館 2階和室

内容 絵本の読み聞かせや工作

今月は「びっくりへびをつくろう」です。

### ◆にこにこ ONE TWO KIDS!

日時 4月18日（木）午前10時～

場所 南公民館 2階団体連絡室

対象 1歳児・2歳児のお子さんと保護者

定員 8組（先着順）

申込 受付中 電話・メール可

### ◆0歳児ママのふれあい広場

日時 4月25日（木）午前10時～

場所 南公民館 2階和室

内容 0歳児ママの成長ノート

定員 10組（先着順）

申込 受付中 電話・メール可

※赤ちゃんの下に敷くバスタオルをご持参ください。



### ◆みなみ学園（高齢者学級）

日時 5月20日（月）午後1時30分～

月1回 第3または第4月曜日

内容 5月は「健康けん玉教室」です。

場所 南公民館 3階集会室

対象 60歳以上の市内在住・在勤者

定員 20組（先着順）

申込 4月16日（火）～ 電話可

### ◆シニアの若返りリトミック

日時 4月23日（火）午後1時30分～

連続4回 火曜日

場所 南公民館 3階集会室

対象 60歳以上の市内在住者

定員 15組（先着順）

申込 受付中 電話可



蕨市立くるみ保育園・・・大きくなりました♡

園長 加藤

3月14日(木)に卒園する年長さんとくるみ保育園から他の園に行くお友達の、お別れ会をしました。

どのクラスの子ども達も、お歌をうたったり頑張って作った作品をプレゼントしたりと、子ども達の成長を感じ「みんなおおきくなったなあ・・・」と思いました。

1年の成長って、すごいものですね。

今年度も残りわずかとなりますが、子ども達と共に楽しく充実して過ごしていきたいと思えます。



## 河鍋暁斎記念美術館 2024年4月展覧会

企画展 「暁斎楽画」シリーズから150年 暁斎・暁翠 戯画・風刺画の系譜展  
同時開催 特別展 日本初のマンガ雑誌『絵新聞 日本地』の世界展

※新型コロナウイルスの感染防止対策等により、予定が急に変更される場合がありますので、最新の情報は美術館のホームページでご確認ください。 <http://kyosai-museum.jp>

会期：2024年4月1日(月)～4月24日(水)

休館日：毎週火・木曜、毎月26日～末日、年末年始

入館料：一般600円、高校生・大学生500円、小・中学生300円、65歳以上500円

第1・2展示室では、暁斎と娘の暁翠が、伝統的な狩野派も描いてきた画題などを基に、ユーモアや風刺をこめて描いた戯画や風刺画の掛軸、錦絵などを展示中です。

また、第3展示室では、暁斎と戯作者の仮名垣魯文(かながき ろぶん)がタッグを組み、明治7年(1874)に出版した、日本人初の風刺漫画雑誌『絵新聞日本地』をパネル展示する特別展を引き続き開催しています。

### 【 今月のお勧め作品 】

『暁斎画譜』より「鍾王捉鬼」 暁斎 明治14年(1881) 錦木七五郎版 版本

暁斎は自らの学びのために、多数の古画を蒐集したり、模写したりしていました。本図は、暁斎が所蔵していた二世・英一蝶(はなぶさ いっちょう)(?～1738)の作品を基にした戯画です。

暁斎は、笠の下敷きになっている鬼の数を増やし、後方で逃げ出す鬼を描き足しています。この暁斎の創意により、中国・唐の玄宗皇帝の夢の中で鬼を退治したといわれる鍾馗の力の大きさが強調されています。なお本展では暁斎が参考にしたであろう一蝶の作品も展示しており、本図と見比べてみることができます。

